

## アスベスト作業レベル

アスベスト作業レベルとは、アスベストの飛散の危険性に合わせた作業レベルのことを言います。レベルは、レベル1から3までの3段階に分かれ、レベル1が最も危険なレベルとなります。自社では除去作業において中間処理を行うなどの万全の体制を取っています。

### LEVEL-1 危険度 高

著しく発塵量の多い作業で、作業場所の隔離や高濃度の粉塵量に対応した防塵マスク、保護衣を適切に使用するなど、厳重な暴露防止対策の必要なレベル。

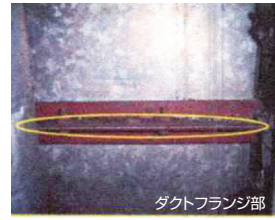
石綿含有吹き付け材の除去作業 ▶



### LEVEL-2 危険度 中

比重が低く、発塵しやすい製品の除去作業で、レベル1に準じて防塵マスク、保護衣を適切に使用するなど、高い暴露防止対策が必要なレベル。

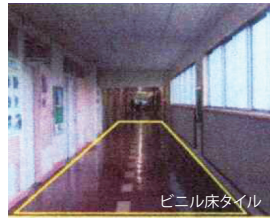
石綿を含有する保温剤、断熱材、耐火被覆材などの除去作業 ▶



### LEVEL-3 危険度 低

比較的発塵が低い作業であるが、破碎、切断などの作業においては、発塵を伴うため、保湿作業を原則とし発塵レベルに応じた防塵マスクを必要とするレベル。

レベル1、2以外の石綿含有建材(例:成形板など)の除去作業 ▶



### 従業員全員が専門的有資格者(実務経験10年以上)

社員全員がアスベスト処理に関わる資格を保有。責任ある工事を行います。

#### 保有資格

特別管理産業廃棄物管理責任者	足場組立等作業主任者(2名)
特定化学物質等作業主任者(3名)	足場組立等作業従事者(4名)
石綿作業主任者(3名)	建設機械運転取扱技能講習修了者(複数名)
建築物石綿含有建材調査者	職長・安全衛生責任者教育修了者(6名)
ダイオキシン類作業特別従事者(6名)	各種取扱電動工具等・他特別教育修了者(6名)

### 充実した保有設備によるアスベスト処理体制

充実した作業設備や道具を整備することで、処理工事の安全性を高めます。

#### 保有設備

エアシャワー機 4台	負圧監視装置
負圧除塵装置(56m <sup>3</sup> /分) 7台	デジタル粉塵計
負圧除塵装置(28m <sup>3</sup> /分) 1台	エア吸引搬送機
エアレスプレー機 7台	仮設足場材
真空掃除機 7台	

### アスベスト処理工事の実績(抜粋)

創業以来のアスベスト処理工事件数は600件。さまざまな施設や建物で、その場に合った適切な処理工事を行ってきました。

企業 118件	工場 32件	住宅・寮 24件	処理施設 9件
オフィスビル 92件	店舗 30件	商業施設 18件	スポーツ施設 8件
小・中・高校 40件	大学・専門学校 30件	官公庁 16件	など
マンション・団地・アパート 40件	発電所・変電所 27件	医療機関 11件	

# アスベスト処理の 手順書





# アスベスト処理工事の手順

Asbestos removal work procedure

当社のアスベスト処理工事は、従来の工法に多くの工事経験によって培った技術、知識をプラス。安全かつ適切な工事で、危険なアスベストを確実に取り除きます。有資格者による徹底した安全管理のもと、サンプル採取から分析、報告、処理作業、廃棄までをワンストップで対応しています。

## Step 1 事前調査及び事前調査結果の報告

建築物の事前調査を行う者の資格要件の新設など、アスベスト(石綿)対策に関する規制が強化されています。

### POINT!

- 2021年 4月 ▶ 規制対象の拡大 / 不適切な作業の防止 / 直接罰の創設 / 事前調査の信頼性の確保
- 2022年 4月 ▶ 事前調査結果の報告
- 2023年 10月 ▶ 建築物の事前調査を行う者の資格要件の新設

当社社員全員が10年以上の実務経験があり、有資格者。



## Step 2 工事計画・施工要領書の準備、各官庁への届け出

各官庁への届け出は義務となっています。



工事計画や近隣住民への配慮も万全。

## Step 3 作業前粉塵濃度測定(養生作業前)

作業前に粉塵濃度測定を行い、外部へ粉塵が流出していないかの確認を行います。



## Step 4 作業場所の隔離・看板の掲示、作業中休憩所の管理

周辺にお住まいの住民や作業中への配慮も万全に行い、リスクを減らします。

## Step 5 事前清掃と床の養生

HEPAフィルター付き真空掃除機による事前清掃とプラスチックシートによる床養生を行います。

## Step 6 足場の組み立て

可搬式作業台、単管足場、ローリング足場等を設置します。

当社では足場の組み立ても可能なので、床だけでなく、壁・既設物・照明器具等の養生も一括して行えます。



## Step 7 壁・既設物・照明器具等の養生

プラスチックシート一重の養生を行います。

## Step 8 負圧除塵装置の設置及び養生検査、粉塵チェック

石綿の漏洩がないかの作業前最終チェックを行います。



アスベスト処理工事前には粉塵濃度の測定を行います。測定結果に基づいて、適切な作業手順を確立し、アスベスト飛散と健康被害の防止に努めます。

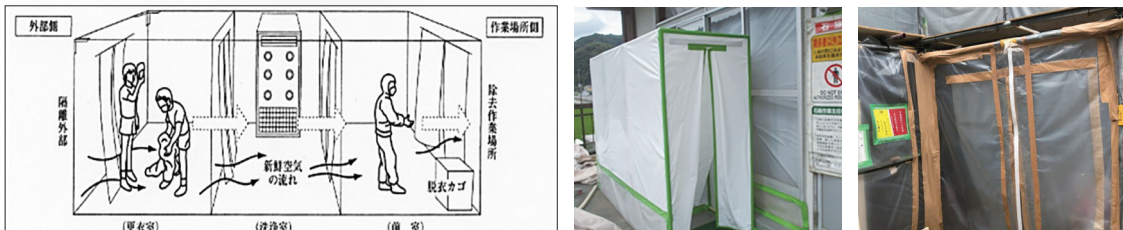


## Step 9 セキュリティゾーンの設置

セキュリティゾーンは①更衣室 ②洗身室 ③前室の3つの部屋で構成され、作業員の出入りや、資機材及び廃棄物の搬出入に伴い石綿が外部へ漏洩するのを防ぎます。

### POINT!

アスベスト処理現場で作業員の安全を確保する場所。アスベストの粉塵が付着した防護服をそのまま脱衣することは極めて危険なため、確かな知識と高い養生技術で安全性にすぐれたセキュリティゾーンを作成します。



## Step 10 粉塵飛散抑制剤吹き付け

アスベストの粉塵が飛散することを防ぎ、周辺地域や作業員への影響を抑えます。安全の上にも安全を期して対応しています。

### POINT!

アスベストは非常に細かい繊維で飛散しやすいため、液剤を使用する湿潤化の方法であれば、アスベストを飛散させることなく安全に除去することが可能となります。



## Step 11 処理作業

有資格者による徹底した安全管理のもと、経験豊富な作業員が現場の状況に応じた適切な工法と高い技術で、安全かつ確実にアスベストを取り除きます。強い安全意識を持ち、丁寧な処理工事を行います。



### POINT!

アスベスト処理会社として創業20年以上。豊富な工事実績に裏付けられた確かな知識や技術で年間約30件の処理工事を安全に行っています。また、社員全員が実務経験10年以上、かつアスベスト処理及び多種作業に関わる資格を保有。お客様の要望に寄り添いながら、安全で丁寧な作業を行い、社会の安全や健康に貢献します。

### 従業員の実務経験

10年以上

### 施工数

年間約30件

### CHECK!

建築物の事前調査でアスベストがあると判断された場合、アスベスト処理を行う必要があります。主な処理方法は3つ。「除去工法」、「封じ込め工法」、「囲い込み工法」です。

### 除去工法

劣化程度が高いものや、振動等によって飛散するおそれ強いものは、除去工法が必要となります。「掻き落とし・切断・粉砕による除去工法」と「掻き落とし・切断・粉砕によらない除去工法」があります。

### 封じ込め工法

アスベスト内部に固化剤を浸透させ、粉塵が飛散するのを抑えます。封じ込め工法には「塗膜性封じ込め処理(表面固化型)」と「浸透性封じ込め処理(浸透固化型)」があります。

### 囲い込み工法

既存の特定建築材料はそのまま残し、アスベストが吹き付けられている箇所を、非アスベスト建材で覆ってしまう方法。アスベストが飛散するのを防ぐことができます。

## Step 12 作業中粉塵濃度測定(石綿除去中)

作業中に粉塵濃度測定を行い、外部へ粉塵が流出していないかの確認を行います。

## Step 13 袋詰め及び残存チェック(必要な知識を有する者による目視検査・確認)

処理された建材は適切に密閉された袋に収められ、安全かつ規制に従った方法で運搬・廃棄します。



## Step 14 除去面・養生シートに粉塵飛散防止剤吹き付け、清掃

養生シートにも粉塵飛散防止剤を吹き付け、周辺地域や作業員への影響を抑えます。

## Step 15 養生撤去作業前粉塵濃度測定(固化剤吹き付け後)

撤去作業前に粉塵濃度測定及び再度目視による残存確認を行います。

## Step 16 管理責任者による検収

施工がクライアントやオーナー様、規制当局の基準に合致しているかどうか確認します。

### POINT!

特定化学物質等作業主任者および石綿作業主任者の資格を持つ当社社員が責任を持って工事個所の残存物をチェック、また清掃状況などを確認します。

養生廃材撤去・袋詰め前に、作業後粉塵濃度測定を行い、アスベストが暴露していないことを確認します。



## Step 17 養生廃材撤去・袋詰め(最終清掃)

アスベスト処理に使用された養生廃材も密閉された袋に収められ、安全かつ規制に従った方法で運搬・廃棄します。

## Step 18 作業後粉塵濃度測定(養生撤去、清掃後・作業完了時)

作業後に粉塵濃度測定を行い、外部へ粉塵が流出していないかの確認を行います。

## Step 19 産廃集積・最終処分

提携している専門の会社に依頼し、適切な方法で廃材を処分します。

### POINT!

当社との取引年数・実績ともに十分な専門業者が、徹底した法令遵守のもと、適切に処分。お客様はもちろん、社会の安全も強く意識しながら作業します。

